

# ブラウザがなくても大丈夫！自分専用AIを「メール」で作ろう

Google Apps ScriptとGemini APIで作る、君だけの全自動お悩み相談室

スマホの制限も関係なし。いつものメールアプリからAIに質問して、5分後に答えをもらう秘密のシステムをDIYしよう！



# なぜ「メール」でAIと話すの？



## 🚫 スマホや学校のPC に制限がある

「アプリが入れられない」  
「Webサイトが見られない」  
環境でも、メールさえ送ればOK！



## ⚡ 思いついたらサッ とメモ感覚で

専用アプリを開く手間なし。  
いつものメールで「宛先：自  
分」にしてサクッと質問を送  
るだけ。



## 🤖 返信はAIが自動で 考えてくれる

5分待てば、AI (Gemini) が  
超優秀な家庭教師のように、  
君のメールボックスに直接返  
信を届けてくれる！

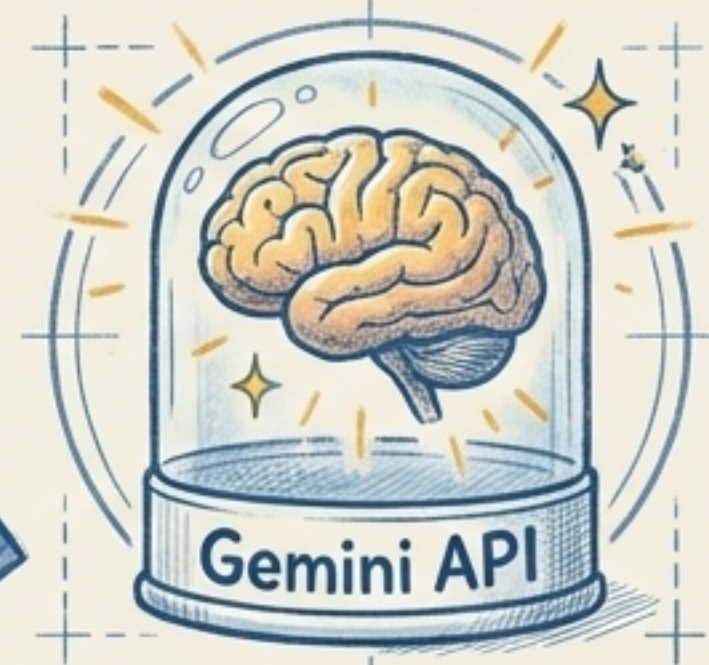
# 裏側では何が起こっているの？（仕組みの図解）



①君が「件名：AskGemini」で自分宛に手紙（メール）を送る



②秘密基地(GAS)が5分ごとに手紙をパトロールして発見！



③天才AI(Gemini)に手紙を渡して、猛スピードで答えを考えてもらう

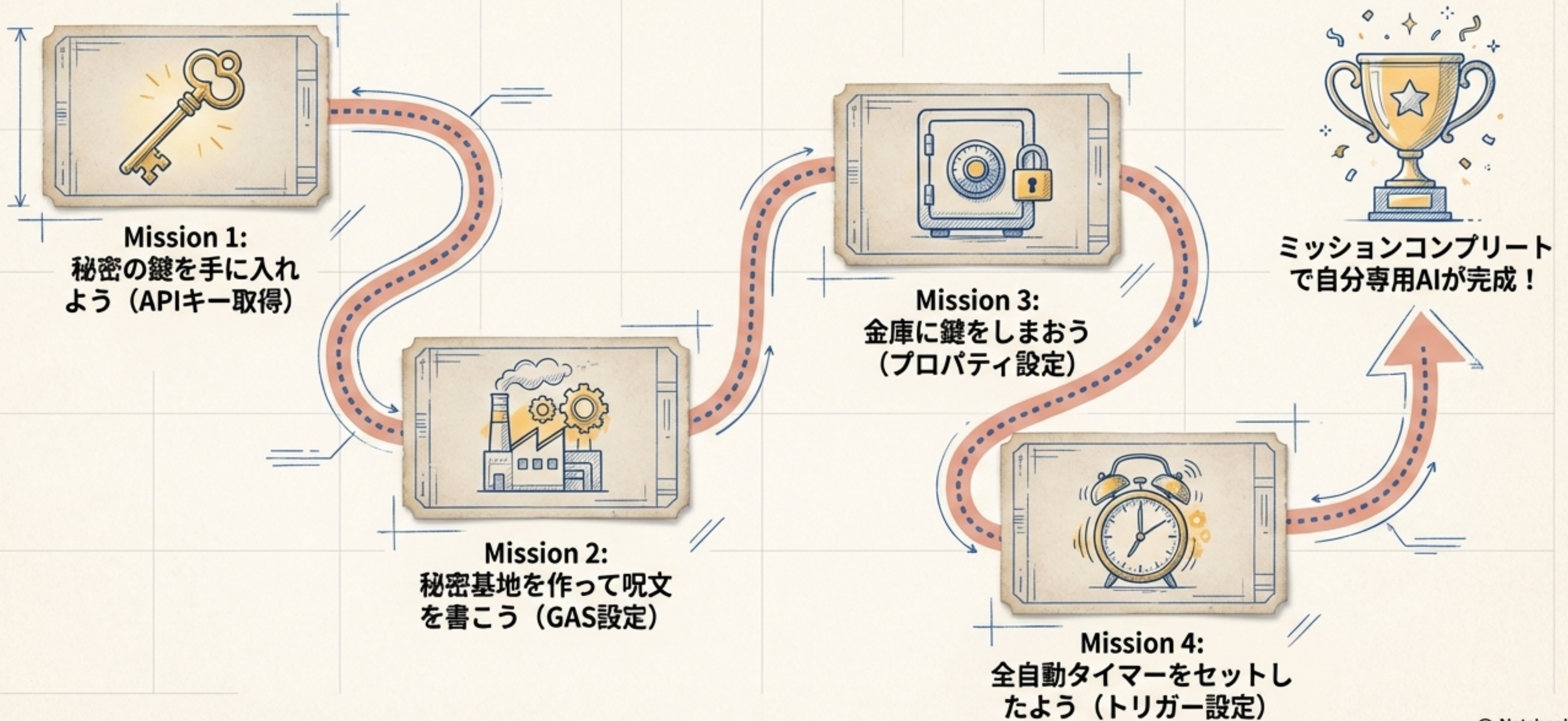


④基地がAIの答えをメールにして返信。君に答えが届く！



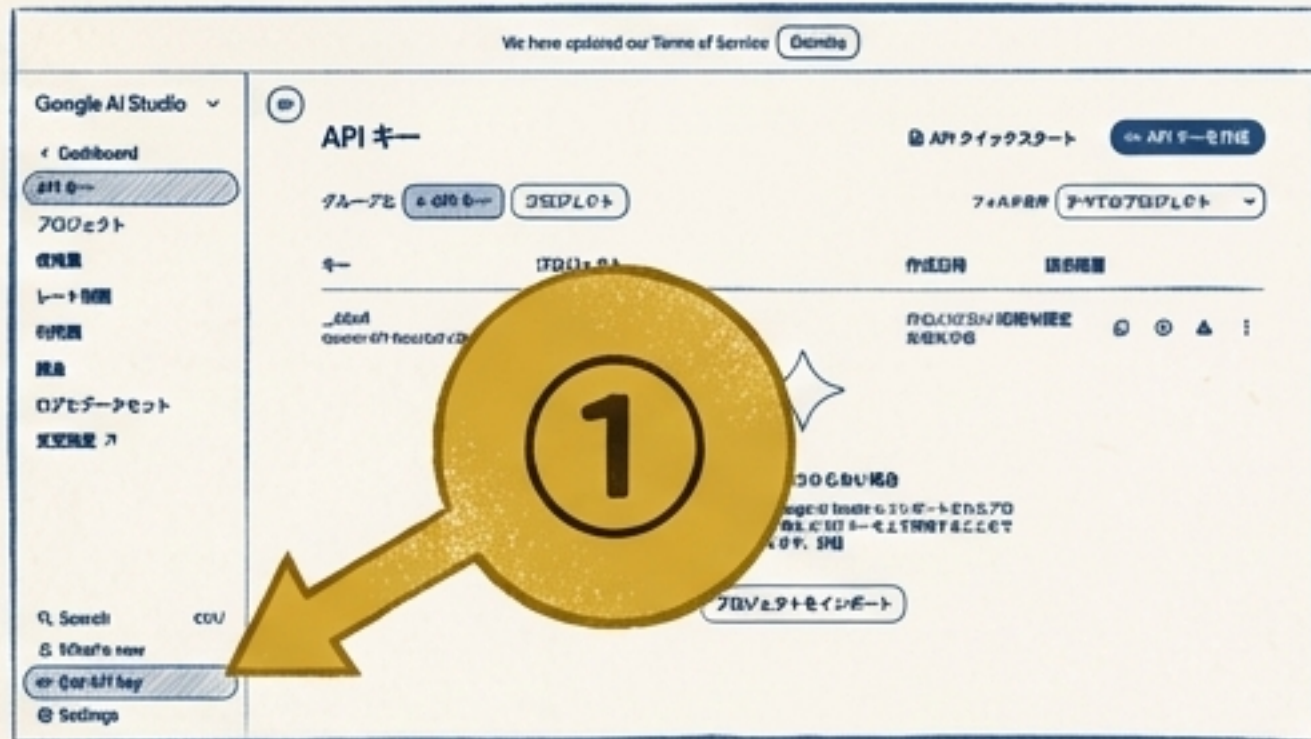
💡 これから君は「②秘密基地」と「③天才AI」をつなぐシステムを自分で組み立てるよ！

# 完成までの4つのミッション



# Mission 1: AIと話すための「秘密の鍵」を手に入れよう

## ① Google AI Studioにアクセス



Google AI Studioにログインし、  
「APIキーを作成」をクリック！

## ② 秘密の鍵（APIキー）をコピー



作成された長い文字列（APIキー）  
をコピーしよう。



**！ 注意！** この鍵は「家の鍵」と同じくらい大事。  
絶対に友達に教えたり、ネットに公開したりしないでね！

# Mission 2: 秘密基地を作って「呪文」を貼り付けよう

## BEFORE (準備)

320 mm / 11.8 inches

1 Click!

新しいプロジェクト

自分のプロジェクト

自分のプロジェクト

すべてのプロジェクト

共有済み

32個

実行数

マイトリガー

プロジェクトがありません

APPS SCRIPT を作成

## AFTER (実行)

最後に保存 (💾) を押す!

```
1 // ...
2 // ...
3 // ...
4 // ...
5 // ...
6 function checkReplyWithGemini() {
7   // ...
8   const scriptProperties = ScriptProperties.getScriptProperties();
9   const apiKey = scriptProperties.getProperty('SDRXL_API_KEY');
10  const API_KEY = apiKey ? apiKey : null;
11  const MODEL = 'gemini-1.5-flash';
12
13  if (!API_KEY) {
14    console.error('エラー: スクリプトプロパティ 'SDRXL_API_KEY' が設定されていません。');
15  }
16  console.log('APIキーの長さ: ' + API_KEY.length); // デバッグ用: 正しい場合は39文字の長さ
17
18  try {
19    // ...
20    const threads = GeminiApp.search('object:AckGemini is:unread');
21
22    if (threads.length === 0) {
23      console.log('まだ未読メールが見つかりませんでした。');
24      return;
25    }
26
27    threads.forEach(thread => {
28      // ...
29      const messages = thread.getMessages();
30      const lastMessage = messages[messages.length - 1];
31
32      // ...
33      const userPrompt = lastMessage.getPlainText();
34      console.log('送信元: ' + thread.getFirstMessageSubject());
35
36      // Gemini API を呼び出す
37      const geminiResponse = GeminiAPI(API_KEY, MODEL, userPrompt);
38    });
39  } catch (error) {
40    console.error('エラー: ' + error);
41  }
42}
```

最初からある文字は全部消して、コピーした長いコード（呪文）をそのままドーンと貼り付けよう!

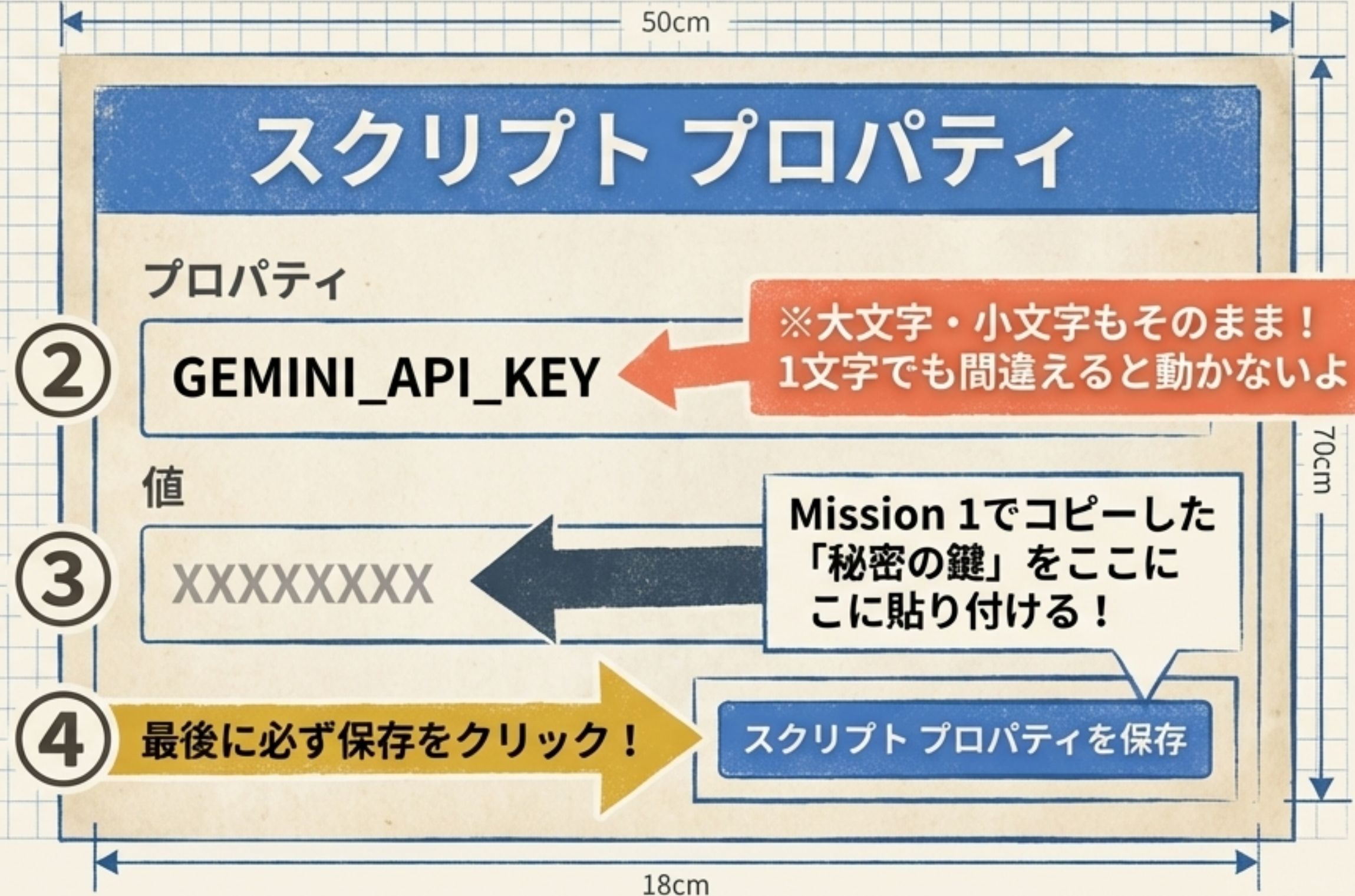
このコードが、メールを見つけてAIに渡すAIに渡す「ロボット」の設計図になるよ。

まずは「新しいプロジェクト」を作成!

# Mission 3: 金庫に「秘密の鍵」をしまおう

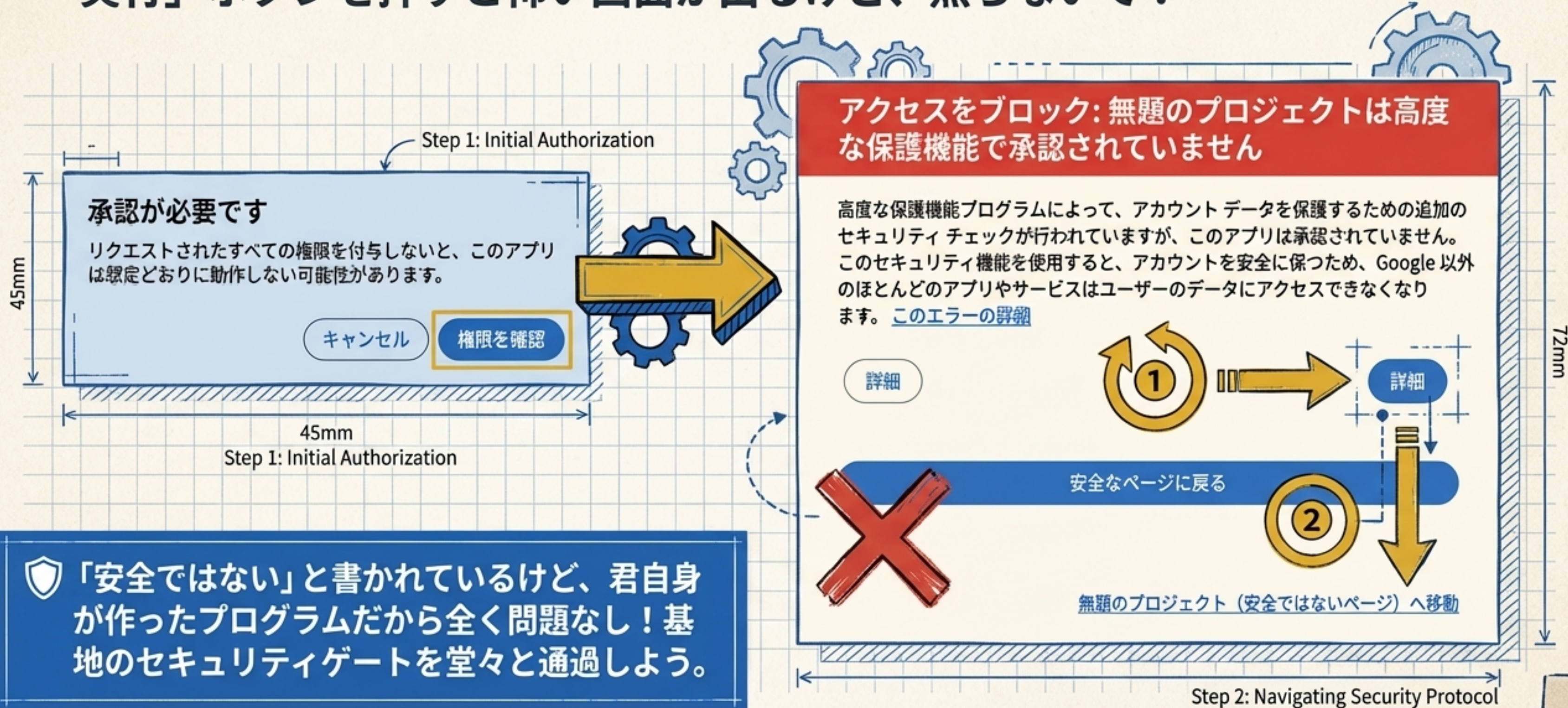


① 左のメニューから「プロジェクトの設定」へ。



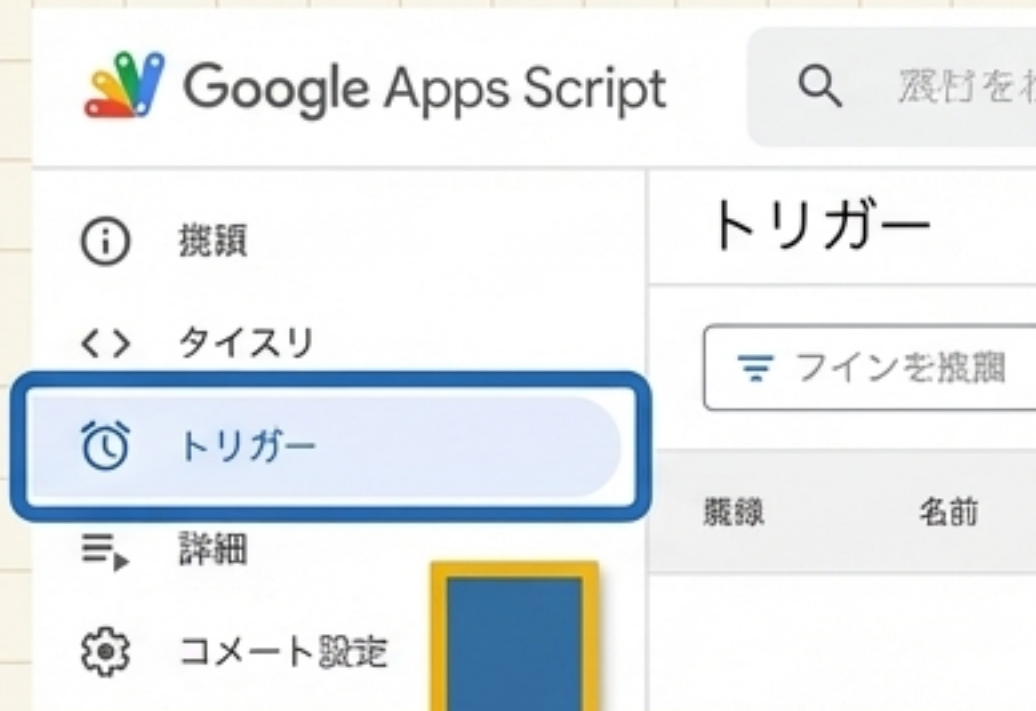
# 最初のテストと「セキュリティゲート」の通過

「実行」ボタンを押すと怖い画面が出るけど、焦らないで！



「安全ではない」と書かれているけど、君自身が作ったプログラムだから全く問題なし！基地のセキュリティゲートを堂々と通過しよう。

# Mission 4: 全自動タイマーをセットしよう




+ トリガーを追加

A diagram of a trigger configuration box with a grid background. The box is 50cm wide and 50cm high. It contains three dropdown menus, each highlighted with a yellow box and a callout line pointing to a label on the right. The top dropdown is labeled '無題のプロジェクトのトリガーを追加'. The first dropdown is labeled 'イベントのソースを選択' and has the value '時間主導型'. The second dropdown is labeled '時間ベースのトリガーのタイプを選択' and has the value '分ベースのタイマー'. The third dropdown is labeled '時間の間隔を選択 (分)' and has the value '5分おき'.

イベントのソース:  
時間主導型

タイプ:  
分ベースのタイマー

間隔: 5分おき

 これで設定完了！基地のロボットが「5分に1回」、新しいメールが来ていないか自動でパトロールしてくれるようになるよ。

# 完成！さあ、AIにメールを送ってみよう



宛先：自分のメールアドレス

件名：AskGemini  
(※これがAIを呼び出す合図！絶対に入れてね)

本文：聞きたいことを書く



## 💡 プロのコツ

AIが迷わないように、メールの「署名」や「過去の返信」は全部消してから送るのがコツだよ。

送信ボタンを押したら、ワクワクしながら最大5分待ってみよう！

# 動かない？トラブルシューティング診断表



症状：5分待っても返信が来ない！

① 件名に AskGemini  
は入ってる？

Yes

② 金庫（プロパティ）  
の設定は完璧？

Yes

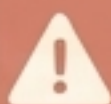
③ GASの画面で「実行  
ログ」を見てみよう

No

No



AIは合図がないと無視しちゃうよ。件名を確認して再送信！



GEMINI\_API\_KEY のスペルミスや、前後に空白が混ざってないか確認して！



エラーが出ている場合は、Step 8の「承認（セキュリティゲート）」が最後まで終わっていない可能性大！もう一度GASの画面で手動で「実行」を押してみてください。

# ミッションクリア！君は「AIエンジニア」の第一歩を踏み出した！



おめでとう！君は自分専用のAIアシスタントをゼロから構築できました。  
仕組みがわかれば、プログラム（呪文）を少し書き換えるだけで色々なAIに改造もできちゃうよ。

## 改造アイデア



### 💡 英語の先生AI

AIへの指示（プロンプト）に「あなたは厳しい英語の先生です」と追加すれば、英会話スパルタAIに進化！

## 改造アイデア



### 💡 クイズメーカーAI

「今日の理科の復習クイズを3問出して」とメールして、毎日のテスト勉強の強力な相棒に！

プログラミングとAIの力で、君のスマホはもっと面白くなる。自分だけのアイデアをどんどん試してみよう！